

1. 実施年月日と会場

7 月 29 日(火) 2 限目、講義のある教室(4-1A 教室)

2. 試験範囲

磁場とローレンツ力、ビオ・サバールの法則、アンペアの法則、電磁誘導、マックスウェル方程式から計 5 問出題。

教科書の例題・例・問および授業 HP の例題を中心に準備しておくこと。

3. 受験上の注意など

1) 試験時間中、学生証は必ず机の上におく。

2) 試験時間中、机の上におけるものは学生証の他、科目の受験にあたり

持ち込みを許可されたもののみとする。

今回の試験では、電卓(関数電卓)の持ち込みを許可する。ただし、計算機能のみの使用に限定する。

3) 携帯電話、PHS 等は、教室に入る前に電源を切っておく。

4) 試験中に退室する場合には、試験室から速やかに離れること。

注意) 学生証を忘れた場合は、原則として試験を受験することができない。

5) 次の場合には挙手で試験監督者に知らせること。

質問、解答用紙追加、計算用紙の希望、トイレ行き、気分が悪い。

特に、気分が悪い場合には、直ぐには立ち上がらないようにして下さい。

4. 参考: 以下の重要な予定を各自確認して下さい。

4.1 成績報告を、期末試験当日か翌 7 月 31 日(木)午前までに提出する予定である。

4.2 最後の授業日 8 月 5 日(火)には受講者全員に出題予定のレポートを提出してもらう予定である。

かつ、不合格判定の学生諸君にはその 8 月 5 日(火)に再試験を実施予定。

再試験の試験範囲は期末試験と同じである。再試験の満点は 70 点として、すでに提出された(または提出完了予定)のレポート課題の評価点満点を計 30 点として、最終成績評価を行う。

以上

非常勤講師 岡本良治